資料 2 - 5

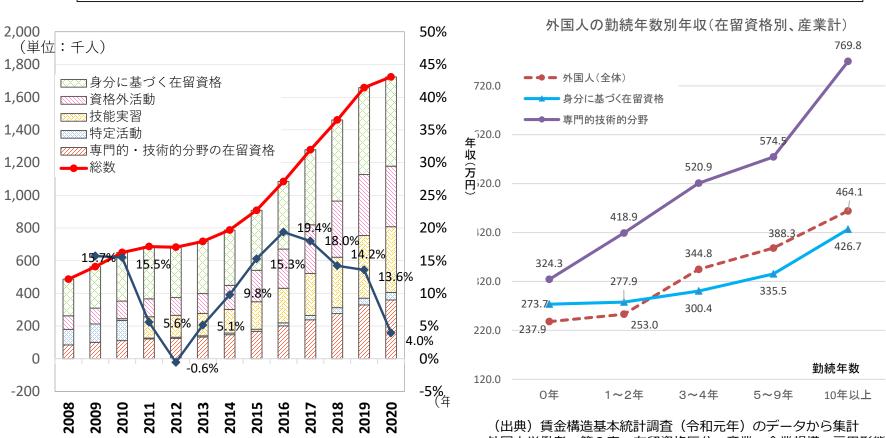
●新型コロナウイルス感染症禍における外国人雇用の状況について(現状)

# ⑤外国人の賃金構造の分析

(令和元年賃金構造基本統計調査より)

# 在留資格別外国人の賃金(勤続年数別)の推移

- 外国人労働者は、**過去10年間で約2.5倍に増加**し、その内訳は、**身分に基づく在留資格 (32%)、技能実習(23%)、専門的・技術的分野(21%)**となっている<sup>※1</sup>。
- 外国人労働者の年収<sup>※2</sup>は、**勤続年数に伴って上昇**していく。ただし、その上昇トレンドや賃金水 準は、**在留資格によって大きく異なる**。
- **身分に基づく在留資格**は、平均より**賃金水準が低い傾向**がある。
- ※1 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)
- ※2 所定内給与額の12倍に年間賞与その他特別給与額を加えたもの(以下同じ)。

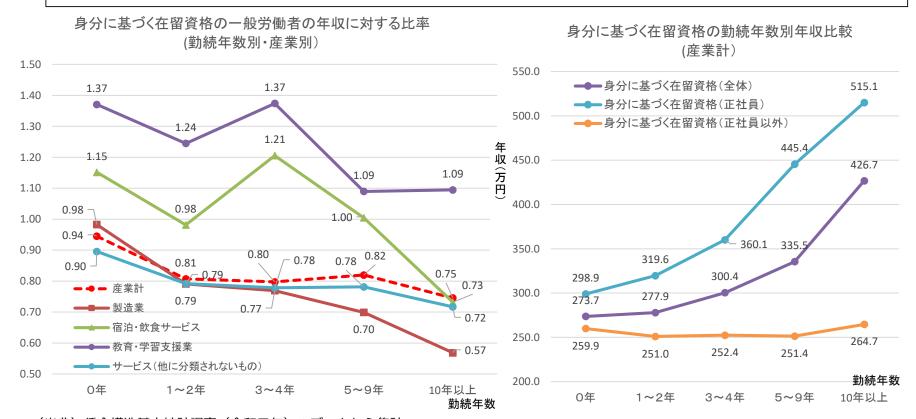


出典:厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」(各年10月末現在)

(出典) 賃金構造基本統計調査(令和元年)のテータから集計 外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、 勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

# 身分に基づく在留資格の賃金構造の分析と必要な支援

- **身分に基づく在留資格と一般労働者の年収**<sup>※1</sup>**の比率は**、同資格の多くを占める**製造業**(31%)、 サービス産業(他に分類されないもの)(25%) <sup>※2</sup>で、一般労働者(全体)の年収を常に下回り、勤続年 数に応じ、差が開いていく傾向。
- 身分に基づく在留資格の勤続年数の年収は、正社員は勤続年数に応じて年収が増加しているが、**正 社員以外では、年収の伸びはほとんど見られない**。
- ※1 就労者全体年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)



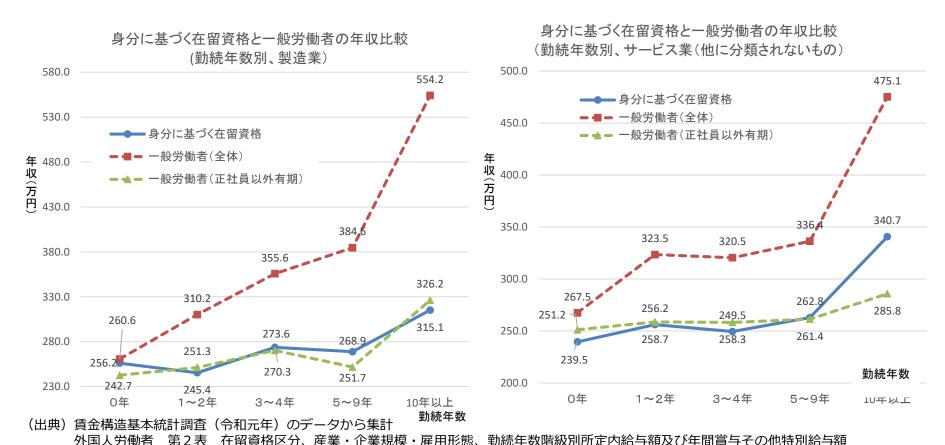
(出典) 賃金構造基本統計調査(令和元年)のデータから集計

外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

- 一般労働者 産業大分類 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額
- 一般労働者 雇用形態別 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

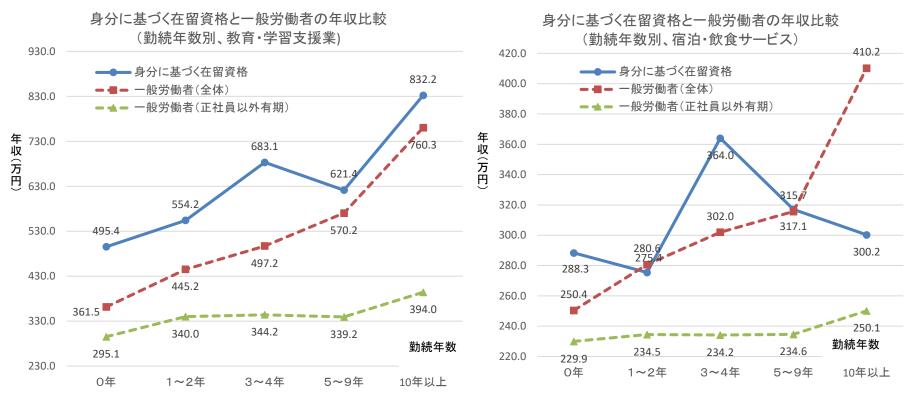
### 身分に基づく在留資格の賃金構造の分析と必要な支援

- **製造業、サービス業(他に分類されないもの)**の年収トレンドは、**正社員以外(有期)と一致**する。これらの労働者に対する**安定雇用への転職支援等を重点的に行う**必要がある。
- ※1 就労者全体年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)



### 身分に基づく在留資格の賃金構造の分析と必要な支援

- **教育学習支援業**では、身分に基づく在留資格では、**一般労働者(全体)の年収を上回っている**。
- 一方、**宿泊・飲食サービス業の年収は、勤続年数5年以降に低下**しており、**勤続年数5年以上では正社員比率が下がっている**可能性がある。これらの労働者に対する**正社員の定着支援等を重点的に行う**必要がある。
- ※1 就労者全体年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)

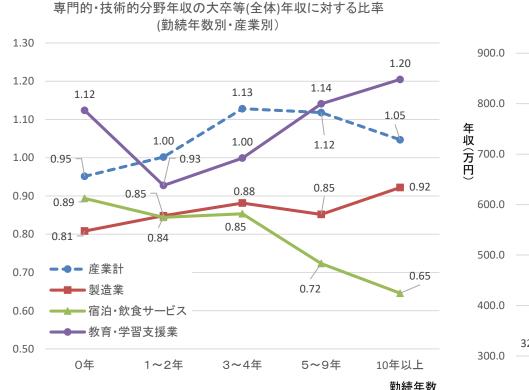


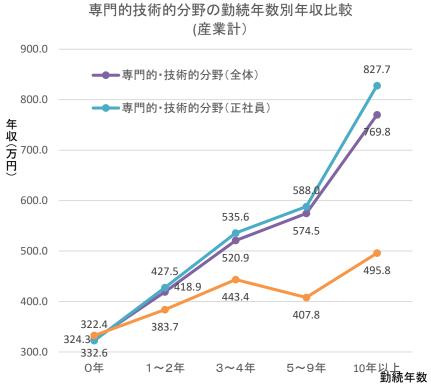
(出典) 賃金構造基本統計調査(令和元年)のデータから集計

外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額 一般労働者 産業大分類 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額 一般労働者 雇用形態別 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

# 専門的・技術的分野の賃金構造の分析と必要な支援

- **専門的・技術的分野**の年収は、平均では**大卒等**の年収<sup>※1</sup>と遜色はないが、同分野の13% を占める<sup>※2</sup>宿泊・飲食サービス業の年収比は、勤続年数に応じて低下する。
- **正社員**の年収は、**勤続年数に応じて伸びている**が、**正社員以外は、**正社員と比較して**年収 の伸びがと小さい**。
- ※1 大卒等年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)





(出典) 賃金構造基本統計調査(令和元年)のデータから集計

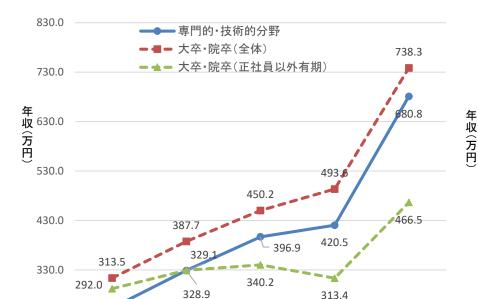
外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

- 一般労働者 産業大分類 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額
- 一般労働者 雇用形態別 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

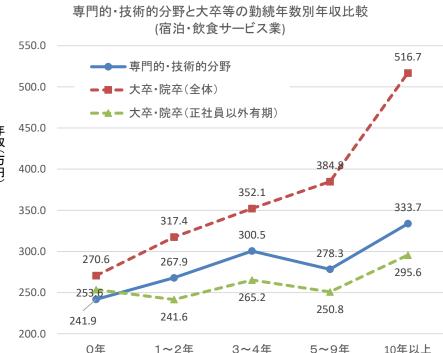
#### 専門的・技術的分野の賃金構造の分析と必要な支援

- **製造業**の年収は、**水準は若干低め**であるが、**大卒・院卒(全体)とほぼ同じ**トレンドで**勤 続年数に応じて上昇**している。管理職への登用等に差がある可能性があり、**支援が必要** である。
- 一方、**宿泊・飲食サービス業**の年収のトレンドは、**水準は若干高め**であるが、大卒等の**正社員以外(有期)と一致**する。同産業はコロナによる影響を多く受けて**求職が増加**しており、在留資格に留意しつつ、**安定雇用や他職種への転換等への支援**が必要。
- ※1 大卒等年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)

専門的・技術的分野と大卒等の勤続年数別年収(製造業)



3~4年



(出典) 賃金構造基本統計調査(令和元年)のデータから集計

1~2年

253.4

0年

230.0

外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

一般労働者 産業大分類 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

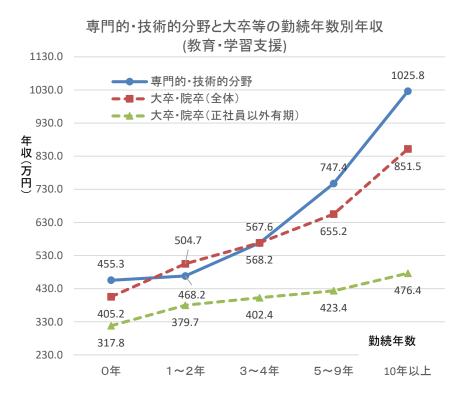
5~9年

勤続年数

一般労働者 雇用形態別 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

### 専門的・技術的分野の賃金構造の分析と必要な支援

- 教育・学習支援の年収は、勤続1~2年を除き、大卒・院卒よりも若干高い水準で勤続年 数に応じ、上昇している。
- ※1 大卒等年収の「10年以上」は、10~14年、15~19年、20~24年、25~29年及び30年以上の加重平均。
- ※2 外国人雇用状況届(令和元年10月末現在)



#### (出典)賃金構造基本統計調査(令和元年)のデータから集計

外国人労働者 第2表 在留資格区分、産業・企業規模・雇用形態、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額 一般労働者 産業大分類 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額

一般労働者 雇用形態別 第2表 年齢階級、勤続年数階級別所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額